

令和4年度 総務部

組織目標（業務達成目標） 4月当初	中間総括（9月末）	年度末総括（3月初旬）
<p>【1】 募集・広報 本校の教育方針や校風を理解し、第一志望とする受検者の確保と増加につながる広報活動を展開するため、本校生徒が主体的にかかわる説明会運営や広報の充実を図る。</p> <p>【2】 校内組織の調整 各分掌と連絡を取り、校内調整や広報活動、外部団体(星陵会館等)の調整を行うことで校内活動の円滑化を図る。</p> <p>【3】 各種発行物 学校要覧はじめ学校案内等の発行物を、各科・各分掌の協力を得て、適切な改訂・正確な記述で制作する。</p> <p>【4】 施設・設備 各教室の机・椅子の管理等、生徒の学習環境の改善を行う。</p> <p>【5】 ICT環境やシステムの整備・調整 一人1台端末導入、Classi、Teamsの運用と利用について、学年・教科と連携し、活用授業に向けての環境整備、情報提供を行う。</p>	<p>【1】 募集・広報 学校見学会において、生徒会役員・外務委員会および部活動生徒と連携した運営を実施し、生徒が主体的にかかわった。参加者アンケートでは、生徒の主体性に多数の高評価が得られた。</p> <p>【2】 校内組織の調整 広報活動や星陵会・星陵会館への対応について、校内および外部機関との調整を十分に行い円滑な運営を行っている。</p> <p>【3】 各種発行物 校内関係者の協力を得ながら、期日までに発行することができた。記述内容や掲載画像の精査を行い、新学習指導要領や COVID-19への対応も行った。</p> <p>【4】 施設・設備 学習環境整備について冬季に対応予定。</p> <p>【5】 ICT環境やシステムの整備・調整 一人1台端末の全体調整と生徒個別対応を実施し、円滑な導入を行った。Classiについては進路指導部と連携、Teamsについては教務部と連携して安定運用を行っている。</p>	

令和4年度 教務部

組織目標（業務達成目標）4月当初	中間総括（9月末）	年度末総括（3月初旬）
<p>① 先生方が質の高い授業を創造し、自ら学ぶ生徒を育て、学問の本質を探究できる姿勢を培うことができるよう、教務部として環境を整えていく。</p> <p>② 日常的な生徒の取り組み状況、定期考査等や生徒による授業評価の結果を通して、通常授業の時間割や臨時時間割、3学年特別時間割などの整備を行う。</p> <p>③ 新3年の科目選択・講座編成を、各教科や進路指導部と連携を取りつつ行う。</p> <p>④ 定期考査時間割は、各教科の要望を踏まえつつも、生徒にとってバランスの良い編成になることを優先して作成する。</p> <p>⑤ 教科書選定は各教科と連携して、生徒にとって最適なものを適切におこなう。</p> <p>⑥ 来年度行事予定は、今年度までの問題点を検証しつつ慎重に編成する。</p> <p>⑦ 入学選抜においては、先生方への指示を徹底し、間違いが起こらないよう適正に実施する。</p>	<p>① 先生方が質の高い授業を創造し、自ら学ぶ生徒を育て、学問の本質を探究できる姿勢を培うことができるよう、教務部として環境を引き続き整えていく。</p> <p>② 授業評価アンケートの提出締め切り日に間に合わない生徒がいるため、締め切りを守らせるように声をかけて指導していく。3学年の特別時間割は、おおむね、予定通りに進んでいる。</p> <p>③ 進路部との連携を引き続き行っていく。</p> <p>④ 定期考査時間割については、各教科の要望を踏まえつつも、生徒にとってバランスの良い編成になるように作成した。</p> <p>⑤ 教科書選定業務は完了したが、年度末の販売の効率化を検討していく。</p> <p>⑥ 星陵会館の予約については、総務部や学年との連携を図っている。</p> <p>⑦ 入学選抜において、適正に実施できるよう、日頃から複数点検を行い、間違い等のミスを事前に防ぐ努力を継続する。</p>	

令和4年度 生活指導部

組織目標（業務達成目標） 4月当初	中間総括（9月末）	年度末総括（2月下旬）
<p>1 身だしなみ、時間管理、SNSの適切な利用、集団生活におけるマナーについて、生徒の自覚を高めるため全教職員による一致した指導を行う。</p> <p>2 いじめのない学校づくりに努める。</p> <p>3 校内整備、美化活動に生徒一人一人が自発的にかかわれるようにし、当事者意識をもたせる。</p> <p>4 学校行事については、通常開催に近づけるため、最善の実施方法を模索しながら実行委員の活動を支援する。</p> <p>5 生徒会、委員会活動、部活動が充実した活動になるよう支援するとともに、行事、特別活動において事故が起きないよう安全管理に努める。</p> <p>6 普段の生活から部活動、行事に至るまで、新型コロナウイルスへの対策を視野に入れて生徒を支援、指導する。</p> <p>7 健康状況の把握:年間計画に基づき、定期健康診断・健康相談を実施し、生徒の健康状況を把握する。適切な健康管理や応急対応が出来るよう教職員間で情報を共有する。</p> <p>8 健康管理・衛生管理:感染症対策や熱中症予防対策などの情報を発信し、生徒の健康に対する意識を高めるとともに、消毒液の管理など環境維持に努める。</p> <p>9 心の健康:生徒の心のケアに迅速に対応できるよう、スクールカウンセラーとの連携を図る。</p>	<p>1 SNSの適切な利用について各クラスで指導し、服装や時間管理についても、集会等で生徒の自覚を高めさせている。</p> <p>2 教員が連携して情報を共有している。</p> <p>3 学習環境の整備と私物管理を継続して指導していく。</p> <p>4 感染対策を行いながら、通常に近い形で体育大会、合唱祭、星陵祭を実施した。3年生は初めて三人行事を体験することができ、実行委員会も伝統を引き継ぐことができた。</p> <p>5 従来に近い活動ができるようになっている。</p> <p>6 さまざまなケースがあったが、学校として部活動合宿を実施した。フィードバックさせて今後の宿泊行事の参考例とする。</p> <p>7 感染防止策に配慮しながら、定期健康診断を計画どおりに実施した。健康調査や個別面談で生徒の健康状況を把握し、情報共有を図った。7月に全職員にアレルギー疾患者の状況やエピペンの使用方法等を周知した。</p> <p>8 消毒薬等の手配・整備等を行う。生徒や保護者には保健室便り、Classi、ポスターなどで感染予防や熱中症への注意喚起を促した。</p> <p>9 全員面接やカウンセリングの情報をSCと共有し、生徒に適切なサポートが出来るよう図る。</p>	

令和4年度 進路指導部

組織目標（業務達成目標） 4月当初	中間総括（9月末）	年度末総括（3月初旬）
<p>グローバル社会の中で必要とされる生徒の資質・能力を育成し、大学入学選抜の主体性評価にも備え、生徒が自らの進路実現を果たせるように最大限の支援を行う。以下の事項を具体的な目標とする。</p> <p>①進路指導部が主体となり、土曜講習及び長期休業中の講習を計画的に実施する。</p> <p>②学習クラウドを活用し、生徒が「振り返り」を行い、「見通し」をもって学びを進めていくことができる体制を確立する。</p> <p>③面談活動を充実させ、二者面談・三者面談を全学年で実施する。</p> <p>④進学指導検討会、拡大学年会、ケース会議において生徒の学習状況を共有し、教科主任会とも連動し全校的な指導体制を整備する。</p> <p>⑤増加する医学科進学希望の生徒支援のために、校内的な整備を引き続き行う。</p> <p>⑥難関4国立大学及び国公立医学部医学科現役合格107人以上、国公立大学の現役合格者153人以上を実現する指導体制を作る。</p>	<p>当初計画のとおり、集会等も大きな制約なく順調に諸行事を実施・運営できている。</p> <p>①土曜講習、夏期講習については、昨年度に引き続き1、2年生はオンラインで、3年生は感染防止に努めながら対面で実施した。</p> <p>②「キャリアパスポート」の作成を進めている。今年度から始まった1学年GPS及び2学年PROG-Hにおいても、自分を見つめ振り返りを行える機会として活用したい。</p> <p>③計画のとおり、全学年で二者面談、三者面談を実施している。</p> <p>④各学年進路が丁寧な資料作成を行っており、全体での共有が図れている。</p> <p>⑤医学科進学希望者を対象に4月25日に外部講師を招いて進学ガイダンスを実施、11月22日に2回目のガイダンスを実施予定。</p> <p>⑥諸行事の実施に加え、日々の授業の充実、定期考査の実施等を経て、生徒の進路実現に向けて全職員が協力している。</p>	

令和4年度 グローバル事業部

組織目標（業務達成目標） 4月当初	中間総括（9月末）	年度末総括（3月初旬）
<p>S S H、GE-Net20、海外学校間交流に関わる事業を積極的に推進し、「グローバル社会の中で21世紀を逞しく切り拓くリーダーの育成」を目指す。</p> <p>第IV期S S H指定を受け、学校全体で各種取組が円滑に遂行できるようにS S H本部事務局としての役割を果たし、「次世代の国際社会を牽引する、高度なデータサイエンス能力を有する人材」の育成に努める。</p> <p>GE-NET20 事業及び海外学校間交流事業（Michuhol 外国語高等学校との交流）を円滑に実施することで、文化・習慣などの多様性を理解し、人類の平和や社会の発展に貢献できるグローバル感覚を備えた人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S S H課題研究Ⅱ・理数探究の円滑な実施を支援し、生徒の探究活動を充実させる。特に、「理数探究基礎」における、全教員での指導を推進する。 ・英語教育事業（オンライン英会話やケンブリッジ英検など）を円滑に実施し、高い英語力を育成する。 ・海外派遣研修の概要計画を作成する。 ・ S S H委員会、グローバル委員会を中心に生徒の主体的な取り組みを支援する。 	<p>事業の大きな柱である SSH、GE-NET20、海外学校間交流に関わる各種事業を試行錯誤しながらではあるが、計画的に実施し、着実に成果を上げることができている。昨年度に引き続き海外研修の代替研修である SSH 課題研究Ⅱの沖縄派遣研修とリーダー研修の夏期集中研修を実施したが、幾つかの課題はあったものの、研修受け入れ先や連携先との綿密な調整・打合せにより充実した研修を実施できた。</p> <p>今後、多くの研修等で得られた成果を校内外に発信するために、成果報告会に向けた生徒指導を計画的に進めていく。海外学校間交流事業においては、グローバル委員会を中心とした活動を活性化させ、韓国 Michuhol 外国語高等学校とのオンライン交流の充実を図っている。SSH 事業の研究開発の中心である「理数探究基礎」のカリキュラム開発においては、「理数探究基礎部門」の会議を通して、他の分掌との連携を取りながら全職員による指導体制の構築が進められている。今後、来年度の海外研修をはじめ、SSH と GE-NET20 の研修のあり方と具体的プランについて検討を行う。</p>	